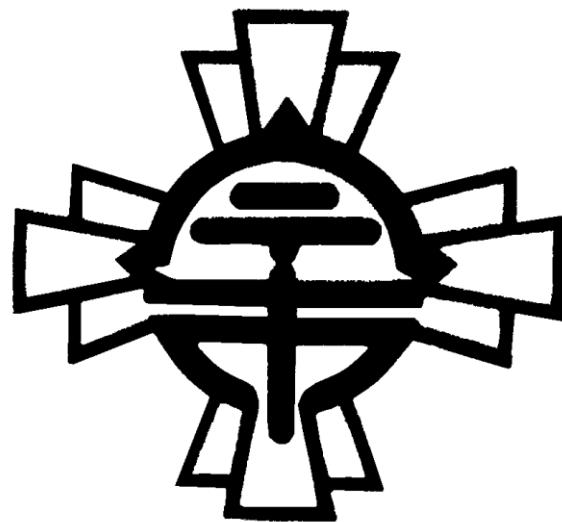


令和2年度

「運営に関する計画」



大阪市立今市中学校
令和2年4月

大阪市立今市中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、個性を尊重し、互いに敬愛協力する教育活動を推進し、保護者・地域と連携を深め、豊かな学校生活の実現に努めてきた。そんな中、本校の課題として、“**生徒の学力向上**”、“**仲間を思いやる心を育てる**”、“**教員の授業力向上**”の3点があげられる。

“**生徒の学力向上**”のため、**小中連携、ICT機器の活用**を中心に進めていきたい。

昨年度から**小中連携**による体力の向上を目的に、体育科の教員を校区小学校に派遣して授業を行ってきた。また、それにより、校区小学校の体力向上や生活指導面での交流を深めることができた。本年度は、大阪市初の取り組みとして数学科教員が、小学校に算数科を教えに行くことになった。**小中連携**により義務教育9年間を見通した**学力向上**を図っていきたい。

ICTの機器の活用に関しては、昨年度全ての普通教室にプロジェクターと巻き取り型スクリーンの設置が完了した。また、「がんばる先生支援」研究支援事業を数学科で受ける中で、タブレットドリルによる反復学習を行う基礎ができた。今年度は、中学校だけではなく小学校においてもその取り組みを広げていき、**ICT機器の活用**を通して**生徒の学力向上**を図っていきたい。

昨年度の校内アンケート「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」に対して肯定的な回答をした生徒は68%にとどまっていることから、“**仲間を思いやる心を育てる**”必要がある。そのために、学校生活において生徒がお互いに関わる自主的活動を増やすために今年度は班活動に力を入れていきたい。また、校長経営戦略支援予算を用いて、次世代型キャリア教育E N A G E E Dを採用することで、生徒の自己肯定感を高め、他者を思いやる気持ちを育てたい。

“**教員の授業力向上**”のために、本年度も「がんばる先生支援」研究支援事業に申請すると共に、リーディングスキルやICTを用いた授業づくりの研究に取り組んでいきたい。また、変化の激しい時代だからこそ、最新の専門知識や指導技術等を身に付けていくことが重要となっており、積極的に外部の進んだ研究を取り入れていく。また、そこで培った「学びの精神」を教職員全員で共有し、**生徒のために教職員が学び続けることが可能な環境**を作っていく必要がある。

中期目標

【 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現 】

大阪市

- 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 令和2年度の学校生活アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を95%以上にする。
- 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を平成28年度より減少させる。
- 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を平成28年度より減少させる。

今市中学校

- 令和2年度の文部科学省学力学習状況調査の生徒質問紙の「いじめは絶対にあってはいけない」という項目について、平成28年からの4年間で肯定的回答を95%以上にする。
- 令和2年度の校内調査において、不登校の状態にある生徒を平成28年からの4年間で全体の5%以下に減少させる。
- 令和2年度の校内アンケートで「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」と回答する生徒を平成28年からの4年間で81%以上にする。
- 令和2年度の校内アンケートで「学校が楽しい」と回答する生徒の割合を平成28年からの4年間で87%以上にする。
- 令和2年度の校内アンケートで「学校の規則を守っている」と回答する生徒の割合を平成28年からの4年間で86%以上にする。
- 令和2年度において、部活動の充実を図り、平成28年からの4年間で参加生徒の割合を90%以上にする。

[心豊かに生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上]

大阪市

- 令和2年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、平成28年度よりも向上させる。
- 令和2年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を、いずれの学年も平成28年度より2ポイント減少させる。
- 令和2年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を、いずれの学年も平成28年度より2ポイント増加させる。
- 令和2年度の学校生活アンケートにおける「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、平成28年度3年生の数値よりも上昇させる。
- 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、大阪市平均を下回る項目を2項目以下に減少させる。

今市中学校

- 令和2年度の全国学力学習状況調査において、自分で計画的に家庭学習に取り組む生徒の割合を平成28年度からの4年間で5ポイント上昇させる。
- 令和2年度の全国学力・学習状況調査において、「読書が好き」と回答する生徒の割合を平成28年度からの4年間で5%上昇させる。
- 令和2年度の校内アンケートで「授業がわかりやすく楽しい」と回答する生徒の割合を平成28年度からの4年間で10ポイント上昇させる。
- 令和2年度の全国体力運動能力調査において、大阪市平均を下回る項目を平成28年からの4年間で2項目以下に減少させる。
- 令和2年度の校内アンケートで「健康や安全に気をくばっている」と回答する生徒の割合を平成28年からの4年間で5ポイント上昇させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

全市共通目標

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

- 自主的活動を通じて仲間を思いやる心を育てる。
 - ・令和2年度全国学力学習状況調査の生徒質問用紙において「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を93%以上にする。
 - ・令和2年度において不登校の状態にある生徒を全校生徒の4%以下にする。
 - ・令和2年度の校内アンケートにおいて「部活動や係・委員会活動に積極的に参加している」と答える生徒の割合を85%以上にする。
 - ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」と答える生徒の割合を75%以上にする。

○生徒が安心して楽しく通える学校をつくる

- ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校のルールを守っている」と答える生徒の割合を85%以上にする。
- ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える生徒の割合を80%以上にする。
- ・令和2年度の保護者アンケートにおいて「子どもは学校生活が楽しいと言っている」と答える保護者の割合を80%以上にする。
- ・令和2年度の校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合を65%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- 令和2年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より、2ポイント増加させる。

- 令和2年度の校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。
- 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が前年度の全国平均を上回るようにする。

学校の年度目標

- 基礎学力を定着させるとともに、教員の授業力を向上させる。
 - ・令和2年度の校内アンケートにおいて「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」と答えた生徒の割合を85%以上にする。
 - ・令和2年度の校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合を65%以上にする。
 - ・令和2年度の全国学力・学習状況調査の結果において「数学の授業の内容はよく分かりますか」の項目について「よくわかる（好き）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。
- 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が前年度の全国平均を上回るようにする。

3 本年度の自己評価の総括

【 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現 】

全市共通目標

学校の年度目標

【 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上 】

全市共通目標

学校の年度目標

大阪市立今市中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
[子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現]	
全市共通目標	
<p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>○校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p>	
学校の年度目標	
<p>○自主的活動を通じて仲間を思いやる心を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度全国学力学習状況調査の生徒質問用紙において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 93%以上にする。 ・令和2年度において不登校の状態にある生徒を全校生徒の 4 %以下にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「部活動や係・委員会活動に積極的に参加している」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」と答える生徒の割合を 75%以上にする。 <p>○生徒が安心して楽しく通える学校をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校のルールを守っている」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 ・令和2年度の保護者アンケートにおいて「子どもは学校生活が楽しいと言っている」と答える保護者の割合を 80%以上にする。 ・令和2年度の校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合を 65%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任だけではなく、学年教師全体で生徒指導にあたる。 ・生徒の些細な変化やSOSを見逃さないために「一週間の振り返り」を活用する。 ・様々な学校行事において、班単位で活動を行うことで、仲間を思いやる心を育てる。 ・生徒会を中心に「いじめゼロ」を目指す取り組みを引き続き行っていく。 <p>指標 令和2年度校内アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>→</p>	
<p>取組内容②【施策3 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会のマナーやルールについて指導する。 ・外部講師を招く機会を増やし、学校の教職員以外の方と触れ合う機会を増やす。 ・開かれた学校づくりを目指す中で、地域とのつながりを増やしていく。 ・場面に応じた、正しい言葉を使えるように指導する。 <p>指標 校内アンケートにおいて「社会のマナーやルールを守っている。」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>→</p>	
<p>取組内容③【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、生徒が活躍できる「学校行事」を積極的に企画し推進する。特に、生徒の自主的活動を推し進めていく。 ・泊を伴う行事や、運動会、合唱コンクール、文化祭など、全員が達成感を得られるように努めると共に、生徒が「安全」に「安心」して取り組める環境整備を行う。 <p>指標 校内アンケートにおいて「運動会や、合唱コンクール文化祭や宿泊行事が楽しい」と答える生徒の割合を85%以上にする。</p> <p>→</p>	
<p>取組内容④【施策3 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア・パスポート」用教材として次世代型キャリア教育「ENAGEED」を採用し、AIやロボットに負けない、自分の意志で社会に貢献できる生徒を育てる。 ・芸術鑑賞を行う。 ・道徳の授業、人権教育を積極的に行う。 ・全ての社会生活の基礎となる、「人を思いやる心」を育てる 	

指標 校内アンケートにおいて「学校生活を通して、人を思いやる心が育っている」と答える生徒の割合を75%以上にする。



取組内容⑤【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

- ・中学校の様子を積極的に発信する。
- ・各学年でホームページ担当の教員を決めて、1日1回以上の更新を行っていく。

指標 昨年度と比較してホームページのアクセス数を25%以上増やす。



年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【全市共通目標について】

【学校の年度目標について】

○自主的活動を通じて仲間を思いやる心を育てる

○生徒が安心して楽しく通える学校をつくる

次年度への改善点

大阪市立今市中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上 】	
全市共通目標	
<p>○令和 2 年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○令和 2 年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。</p> <p>○令和 2 年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より、2 ポイント増加させる。</p> <p>○令和 2 年度の校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。</p> <p>○令和 2 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が前年度の全国平均を上回るようにする。</p>	
学校の年度目標	
<p>○基礎学力を定着させるとともに、教員の授業力を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度の校内アンケートにおいて「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」と答えた生徒の割合を 85% 以上にする。 ・令和 2 年度の校内アンケートにおいて「授業がわかりやすく、楽しい」と答える生徒の割合を 65% 以上にする。 ・令和 2 年度の全国学力・学習状況調査の結果において「数学の授業の内容はよく分かりますか」の項目について「よくわかる（好き）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。 <p>○令和 2 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が前年度の全国平均を上回るようにする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館を有効に活用できる環境を整備し、読書に親しむ習慣や図書館活動を活性化させ、“生徒の学力向上”ならびに“言語力の育成”を図る。 学校元気アップコーディネーターとの連携を通して、図書館でのタブレット学習を導入できる環境を整え、放課後学習会にも力を入れる。 <p>指標 全国学力・学習状況調査において「本を読むことが好きだ」と答える生徒の割合を60%以上にする。</p> <p>➡</p>	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> “主体的・対話的で深い学び”を実現するために、生徒間の「学び合い」を指導の主眼においていた活動を教科指導に取り入れていく。 話し合い活動を行うために、机の高さを揃えるなど、教室で4人グループを作りやすいように環境整備を行っていく。 <p>指標 全国学力・学習状況調査の結果において「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の問い合わせに肯定的に答える生徒の割合を全国平均以上にする。</p> <p>➡</p>	
<p>取組内容③【施策4 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器を教師が授業において積極的に活用する。 数学のタブレットドリルを活用することで自宅においても勉強できる環境を整えていく。 自宅でのインターネットを用いた家庭学習の可能性について探っていく。 <p>指標 校内アンケートにおいて「ICT機器（プロジェクターやタブレット）の利用により、授業に対する興味関心が高まったと思う。」と答える生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>➡</p>	

取組内容④【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】

- ・保健体育の授業において補強運動、柔軟運動の充実を図り、筋力および瞬発力の育成に努める。
- ・保健体育に対する苦手意識を減らすために専門的指導を行うことで運動能力を高めるなど結果を出し、生徒の関心意欲を高める工夫を行う。

指標 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が前年度の全国平均を上回るようにする。



年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【全市共通目標について】

【学校の年度目標について】

- 基礎学力を定着させるとともに、教員の授業力を向上させる
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに体力合計点が前年度の全国平均を上回るようにする。

次年度への改善点